

2025/5/12

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

## 先週のマーケット動向(5月7日～5月9日)

為替、株式

|         | Open     | High     | Low      | Close    | Chg    |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,380.0  | 1,415.1  | 1,379.7  | 1,400.0  | ▲5.3   |
| JPY/KRW | 9.6380   | 9.7914   | 9.6105   | 9.6270   | ▲0.055 |
| KOSPI   | 2,577.04 | 2,590.90 | 2,559.17 | 2,577.27 | +17.48 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。連休前に台湾ドル高が進行しそれにつられアジア通貨が全面高となる動きが韓国連休中も継続したことで、週初にドル/ウォンは1,380.0ウォンでオープン。しかし、台湾中銀は公式には米国からの通貨誘導に関する圧力を否定しており、他のアジア通貨への波及は限定的との見方からその後ドル/ウォンは1,400ウォンを回復する動きとなった。8日は米国が英国との貿易交渉に合意見通しであることが伝わったことで様子見ムードから1,390ウォン台後半で揉み合い推移。その後、実際に米英貿易交渉の合意が伝わったことで、米金利が上昇、ドル買いが広がり、9日のドル/ウォンは一時1,415ウォン付近まで上昇する場面が見られた。しかし、1週間ぶりの高値に輸出企業によるドル売り圧力が強まり、その後は1,400ウォン前後での推移が続き、前週末比▲5.3ウォンの1,400.0ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

## 今週の見通し

今週のドル/ウォンは週半ばから後半にかけて反発を予想。先週末の米中貿易協議では、交渉の枠組みを設置することで一致し、12日にも共同声明を発表することが報じられた。米中摩擦の緩和により、週初はリスクオンの動きからアジア株高・人民元の上昇とともにドル/ウォンは下落推移を想定。一方、具体性のある合意が得られたかどうかについては懐疑的な見方もあり、週後半にかけて徐々にドル/ウォンは買い戻される展開を想定。

| USD/KRW     | JPY/KRW     | USD/JPY       |
|-------------|-------------|---------------|
| 1380 ~ 1410 | 9.45 ~ 9.75 | 144.0 ~ 147.0 |

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 12日(月) 日 3月 国際収支
- 13日(火) 米 4月 CPI
- 14日(水) 韓 4月 失業率
- 15日(木) 米 5月 失業保険新規申請者数
- 欧 1Q GDP
- 米 4月 PPI
- 米 5月 NY連銀製造業指数
- 米 4月 小売売上高
- 米 4月 鉱工業生産
- 16日(金) 米 5月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
- 日 3月 鉱工業指数 確報値
- 米 4月 住宅着工件数
- 日 1Q GDP 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。